

令和8年2月9日

令和7年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	千代田区立お茶の水幼稚園
所在地	千代田区神田猿樂町1-1-1

1. 活動のテーマ

<テーマ>

- ・色と遊ぼう
- ・熱帯魚や淡水魚を見ながら魚を作ろう

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子供たちの興味関心、園の特色など)

色は活動を通して視覚から必ず入る身近なものであり、子どもたちは自分の経験から得た様々な色を表現し味わう姿が見られる。色のもつ、美しさや暖かさ、冷たさを感じ取り再現する活動は子どもたちの豊かな感性や創造力を身に付けさせることができる。特に自然界に存在する色は、普段目にすることのない複雑さを有しており、興味関心を高めることができる。

2. 活動スケジュール

- ・レンタルで水槽の設置。(月2回の清掃作業中に担当者と自然なかかわりをもちながら感じたことを話せる機会をつくる。)
- ・好きな遊びの中で、水槽の魚を見ながら自由に描いたり作ったりする場を設定する。
- ・講師を招聘し、絵具などの教材をしいのびのびと表現する活動をする。
- ・日々の保育の中で新たな教材や画材と出会い、製作などに活かす。
- ・水槽横に本棚を設置して図鑑や絵本を置く。魚の名前や生態、色についてなど気になった時にすぐに調べられるようにする。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

本棚・図鑑・絵本
絵具・蛍光絵具・水性サインペン・カラー筆ペン・食紅
全紙・カラーセロファン・様々な種類の折り紙
ブラックライト
デジタルカメラ
ライトテーブル・マグビルドブロック

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

- ・普段から目にしやすい場所に淡水と海水魚、両生類の水槽を設置する。
- ・月に2回の水槽清掃時に担当者との自然なかかわりの中で知りたいことを聞く機会を設ける。
- ・水槽の隣に絵本棚を設置し、関心をもったことなどが調べられるようにする。
- ・ライトテーブルを使い、様々な教材を置き色を楽しめるようにする。
- ・カラー筆ペンなど水性サインペンを使い自由に絵を描けるようする。
- ・講師を招聘し、のびのびと絵具で遊ぶ活動をする。
- ・新たな教材や画材との出会いから保育者や子供が工夫しながら取れる。

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

- ・水槽の前を通りかかった時にじっくりと魚を見たり、ごっこ遊びに必要な時に魚をみたりと個々に生活や遊びの中に取り入れていた。
- ・今年度は色についての図鑑や絵本も増やしたことで、同じ色でも少しずつ違っていることに気づき色を比べている姿がみられた。
- ・講師を招聘しての活動では、全身を使ってのびのびとダイナミックに表現活動ができ、子どもたちも解放感を味わい活動を楽しんでいた。
- ・カラーの筆ペンは発色がよくとてもよく力をいれなくても描く線がのびるので、描き心地もよくのびのびと表現する気持ちにつながった。

<活動の様子>

活動の様子が分かる写真を2枚以上貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用してください。)



5. 振り返り

(振り返りによって得た保育者の気づき)

- ・日々の生活の中に、自分たちでは飼育することが難しい水の中の生き物が身近にすぐ見られることは日々の変化や発見などにつながっている。発見したことを図鑑で調べたり、色を色図鑑で見たり、魚の衣装を作って遊びの中に取り入れたり壁面の魚作りに生かしたりし生活の中でのに工夫が見られる。
- ・色の発見もあるが、水の中の生き物に対しても愛着がわいて成長に気づいたり、生態にも関心をもったりするようになった。
- ・新たな教材や画材とも出会いは保育者も子供も色を楽しんだり、のびのびと描いたりするなどやってみたいという気持ちにつながった。

以上